

「学習障害!？」 と思い込んでしまう前に ～学習症とそれに似ているもの～

2017年11月16日

琉球病院 医師 遠藤尚宏

本日の内容

- 学習にかかわる能力
- 学習障害の定義
- 学習障害の症状と対応
 - 読字
 - 書字
 - 算数
 - 能力の秀でた子
- まとめ

学習にかかわる能力

- Memory WMI
 - Attention-impulsive
 - Language
 - Visual-spatial
 - Temporal-sequential
 - Higher Order Cognition : concept, decision making, evaluative thinking, brainstorming, rule usage
-
- Phonologic
 - Neuromotor function
 - Interests/motivation—phobia, failure, frustration
 - Social-self-monitoring

学習障害の定義

教育現場（文科省）

学習障害とは、基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、**聞く、話す、読む、書く、計算する**又は**推論する**能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すものである。

学習障害は、その原因として、中枢神経系に何らかの機能障害があると推定されるが、視覚障害、聴覚障害、知的障害、情緒障害などの障害や、環境的な要因が直接の原因となるものではない。

1999年7月の「学習障害児に対する指導について（報告）」より

学習障害の定義 医療現場（DSM-5）

- 読みの困難
- 文章理解の困難
- 書字の困難
- 算数（計算）の困難

知的障害、視覚障害、聴覚障害、心理社会的困難、教育的指導の不十分さでは説明できない

学習障害とは単に勉強ができないことではない！

限定した学習面での困難

成績と知的レベルの乖離

脳機能の問題である = 本人の努力不足や環境面での問題ではない

評価

- 学校の成績の確認
 - 授業態度・・・理解しているか？ 集中力は？ やる気は？
 - テスト・提出物・・・書き方 計算？文章題？
 - 通知表
- 知能検査（発達検査）
 - 成績と知的レベルの乖離の有無、凹凸の有無→支援につなげる
- 集中力、多動性・衝動性の評価
- 自閉症スペクトラムの評価
- 発達歴
- 問診、観察

読字症 ディスレクシア 症状

- | | すべてに言語（意味） |
|-----------------------------|-----------------------|
| • たどたどしく読む | ・ ・ ・ ・ ・ 音韻、継時、WMI |
| • 間違えて読む 音読より黙読がもっと苦手 | ・ ・ 音韻、記憶 |
| • 文末を勝手に変えて読む | ・ ・ ・ ・ ・ 音韻、集中 |
| • 特殊音節が苦手 例：「がっこう」→「がこう」 | ・ 音韻、記憶 |
| • 単語、行をとばす →指で押さえながら読む | ・ ・ 音韻、集中 |
| • 区切り方が誤っている | ・ ・ ・ ・ ・ 音韻、継時、WMI |
| • 漢字を覚えることが苦手 | ・ ・ ・ ・ ・ 音韻、高次、記憶、視覚 |
| （文章内容を理解できない） | ・ ・ ・ ・ ・ 高次、集中、記憶 |

全く読めないわけではない
＝読めている子でも支援が必要な場合がある

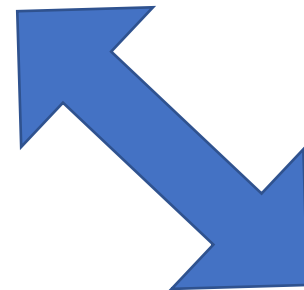
読字症 ディスレクシア

- 文字を読むためには記号を解読しなくてはいけない
 - 目で見て文字を認識＝視覚（視空間）認知
 - 音韻の気づき

「らくだ」



対応①

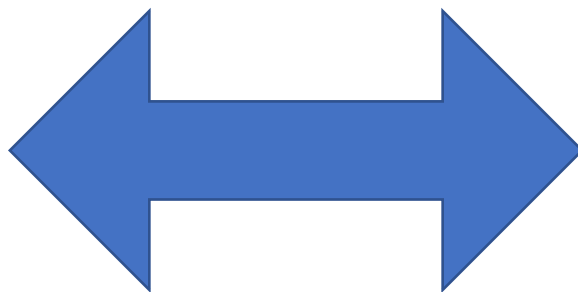


文字

「ら」「く」「だ」

音声

「らくだ」



対応②

小枝達也 「発達障害医療のエッセンス」 スライドより

1. 解読指導

音と字のマッチング

2. 語彙指導

単語の形（文字の塊）を見分け、意味を見出す

単語の解読 → 音読

意味を学ぶ

例文を作る

“本の読み聞かせ”が意味のネットワークに重要

対応

語彙

- 「なんとなく読める」ではなく、「難なく読める」までやる
- ひらがな、カタカナの中でも読みづらいものを選んで、集中的に（＝対象をしぼって）やる
- 誤学習を修正
- 耳で聞いたことを覚えることが得意なら、50音表を活用して、音声と文字を一致する練習も有効とされる

解読

- 単語・文節/ごと/に/斜め線/を/いれる、高学年では、一まとまりの語句を囲う。
- 流暢さ（読む文）：先生が文章を読んだ後、本人にも文章を読ませる。一人で正確に読めるまで、そのつどアドバイスや修正箇所を指摘してやる。一人で読ませるのは効果的ではない。
- 文章の背景の知識を蓄えたり、事前に伝えたりすることで、文章の流れを追いやすくする。
- 読むところ以外を隠す

読字症に関する早期介入 RTIモデル

小枝達也 2017.2.3 沖縄小児神経研究会「発達障害医療のエッセンス」スライドより

小学校1年生 学級内での読み書き指導

音読が困難



8月～

2段階の音声アプリを用いた指導

改善しない



小学校2年生

個別の解読と語彙指導

改善しない



読字症の診断

国立成育医療センター ディスレクシア ワークショップ

- 内容 ディスレクシアの音読の評価と初期の指導が、明日から出来るようになるワークショップです。
- 対象者 医師、コメディカル、教員、発達障害および発達の気になるお子さんの支援に携わる方など
- 参加費 無料
- 日時 第3回 平成29年12月3日（日）
第4回 平成30年2月18日（日）
※連続講座ではありません。すべて同一の内容になります。

国立成育医療センターHPより

https://www.ncchd.go.jp/recruitment/gakusyu/dyslexia_work-2017.html

書字症

- | | | | | |
|-------------------|-----------|-----|-----|--------|
| • 読みにくい字を書く | • • • • • | 音韻、 | 継時、 | WMI |
| • 書くのが遅い | | • • | 音韻、 | 記憶 |
| • 意味や形が似ている字を間違える | • • • • • | 音韻、 | 集中 | |
| • 独特の筆順で書く | | • | 音韻、 | 記憶 |
| • 漢字が苦手、あまり使わない | | • • | 音韻、 | 集中 |
| • 文法的な誤り | • • • • • | 音韻、 | 継時、 | WMI |
| • 板書・書き取りが苦手 | • • • • • | 音韻、 | 記憶 | |
| | • • • • • | 高次、 | 集中、 | 記憶、 継時 |

全く書けないわけではない

= 字を書ける子でも支援が必要な場合がある

対応

※「読み」「書き」両方苦手なら、まずは読めるようになることから始めましょう。

- いくつもの字を同時に習得しようとするのではなく、似た音や字を一つ、二つずつ、マスターするまでやる。
- 一度にたくさん書いて覚えるよりは、少ない回数でいいので集中して練習する。それを長い期間続ける。褒めるなどの声掛けや、本人の好きなこととセットで！
- 「へん」や「つくり」などに分けてパズルのように覚えることも有効。
- 絵カードを使って、「絵」、「単語（もしくは「文字」）」、「音声」を組み合わせ、クイズ形式で行う。
- 聴覚を使った学習が効果的（聴覚的記憶力が良好な場合）：
 - 漢字の読み方を言いながら繰り返し書く
 - 書字の際、画要素や組み立てをしゃべりながら書いてもらう（「田」なら、たて、かく、たて、よこ、たて）
- 腕を大きく動かしたり、体全体を使ったりして覚える。

対応 学習の目的を考える

- 国語以外の教科でも学習意欲が低下し、自分に対する自信を失ってしまうことを避ける。
- 読字、書字が不得手なせいで、年齢相応の知識、経験を得る機会を失わないよう、環境を整える。
- 学習症でも、偉大なことを成し遂げた人は大勢いる（例：スティーブンスピルバーグなど）

算数症

- 位が大きいと難しい
- 10の分解合成ができない
- 繰り上がりや繰り下がりのある計算が困難
- 単位が覚えられない
- 図形の認知・構成が難しい
- 文章題を解くのが困難

能力の高い子 Gifted, 2 e

- 2 e (twice exceptional) : 知的に恵まれた才能を持つが、同時に障害と呼ばれてしまうレベルの困難さも持つ子ども（人）

早期療育

- 学校生活の成功率をあげ、高校を退学する可能性の低下させ、
非行・十代の妊娠・失業を減らすことがわかっている

対応 心理社会面

- やる気
- 計画性 先の見通しをたてる
- 押し付けにならない
- うまくいかないときのフォロー
- 本人なりの目標と役割

まとめ

- 「支援」が必要ではない子もサポートが必要

参考文献

1. 医師のための発達障害児・者診断治療ガイド 加我牧子、稲垣真澄 2006 診断と治療社
2. Developmental-Behavioral Pediatrics 4th edition, Carey W. 2009, Saunders Elsevier
3. Nelson Textbook of Pediatrics 18th edition, Klergman, Saunders Elsevier
4. 小枝達也 2017.2.3 沖縄小児神経研究会「発達障害医療のエッセンス」スライド
5. LDI-R LD判断のための調査票 上野一彦ら 日本文化科学社
6. 国立成育医療センターHP
https://www.ncchd.go.jp/recruitment/gakusyu/dyslexia_work-2017.html